



児童自ら学びを深める算数科授業の創造～一斉授業を軸とした協働的な学びや個別(最適)な学びの取組を通して～

「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く

研修だより

令和8年4月 10日
世羅町立せらびがし小学校
No.3

令和8年度 1学期の取組について

1 令和7年度3学期 単元計画開発についての交流（別紙資料）

2 1学期 単元計画開発と授業交流について（学期に一回 授業公開する全学級で実施）

（例）

1 学年 第5学年

2 単元名 「偶数と奇数、倍数と約数」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p52～を参考に作成

3 指導計画(全13時間)

時	本時のねらい ※段落を1段下げて区別する。	評価規準（評価方法）		
		知・技	思・判・表	主態
1	「偶数」「奇数」の意味や性質を知り、整数は偶数と奇数に類別できることを理解する。 ・あたりはずれゲーム（1～18）をして奇数と偶数の規則性に気付く。	・知①（行動観察・ノート） 学習活動 ※主な学習活動1つを「・」で始めて記述。 ※児童が問いや課題と捉えられる内容にする。		
2	偶数と奇数を式に表し、その性質を考え、説明することができる。 ・ペアで「偶数が作れたらあたりゲーム」をし、偶数・奇数を図や式に表す。		・思①（ノート）	
3	「倍数」の意味について理解する。 ・あたりはずれゲーム（1～20）をして5の倍数の規則性に気付く。	・知②（ノート・Canva）		・態①（行動観察）
4	「倍数」「公倍数」「最小公倍数」の意味について理解する。 ・2つの数の公倍数を使って求める。	○知②（行動観察・ノート）		評価の観点は基本的に1時間に1個にしぼる。最大2個まで。
5	2つの数の公倍数は、最小公倍数の倍数になっていることを理解し、公倍数を求めることができる。 ・どんな場合でも早く公倍数を求められる方法を比較検討する。	・知③（行動観察・ノート）	・思②（行動観察・ノート）	
6	2つの数の公倍数の求め方を活用して、3つの数の公倍数の求め方を考え、説明することができる。 ・班で問題を出し合い、3つの数の公倍数を小さい方から5つ求める方法を考え、説明する。		○思②（Canva・行動観察）	・態①（行動観察）
7 ・ 8	「約数」「公約数」「最大公約数」の意味について理解する。 ・学級の20人を等しくグループ分けする方法を考える。	・知③（行動観察・ノート）	・思①（行動観察・ノート）	

「・」は児童の学習状況を把握して次の指導に生かすもの。ノート等によって評価する。

「○」は記録に残すもの。成績や要録等の評価に生かす。そのため、単元末が多い。

9	2つの数の公約数は、最大公約数の約数になっていることを理解し、2つの数の公約数を求めることができる。 ・どんな場合でも早く求められる方法を比較検討する。		○思②（行動観察・ノート）	
10・11	公倍数と公約数のどちらを使って求めることが適切か判断することができる。 ・公倍数で解く問題と公約数で解く問題を比較する。		○思③（ノート・Canva）	
12	単元の学習の活用を通して事象を数理的に捉え論理的に考察し、問題を解決する。 ・新幹線の座席で隣に空席ができないように座る場合を考える。		・思④（ノート・Canva）	○態②（行動観察）
13	既習事項を振り返りながら、類似した問題に取り組み、定着を図る。	○知①②③（テスト）	○思①②③④（テスト）	

4 一斉授業を軸とした協働的な学びや個別（最適）な学びの取組

(1) 日常の探究と算数科の探究の両輪を回す授業を展開するために

- ・児童のレディネステストの結果や、これまでの授業で取り組んできた練習問題の見取りから、除法を多様な見方で捉えることに課題があるため、以下のような問題場面を設定する。

Aのふん水は3分おき、Bのふん水は4分おきに出ます。
朝7時に同時に出ました。同時にふん水が出るときを写真に収めたいと思っています。
次にふん水が同時に出るのは何分後ですか。

- ・「同時にふん水が出るときを写真に収めたい」という条件を設定することで、同時であることを求める必要感を持たせるとともに、「公倍数」を児童自身が見い出せるようにする

日常の探究と算数科の探究のつながりが分かるように記述する。

本時（本単元）で扱う日常生活場面に即した問題について、意図が明確になるように説明する。

(2) 協働的な学びと個別（最適）な学びを往還させるために

- ・1つの課題に対して図や絵、数直線で表現する力を身に付けさせるために、多様な考え方を共有する時間を増やす。
- ・除法を多様な見方で捉えることができるようにするために、乗法での見方（倍数・公倍数）を定着させる時間や、問題を出し合って多様な場面に触れる時間を確保する。
- ・より主体的に算数に向き合い、対話を促進させるために、児童自身が問題を作成したり、友達の問題を解いたりする活動を設定する。

ねらいを明確にした意図的な指導となるように記述する。
・～ことで、…できるようにする。
・…するために、～する。

5 成果と課題

(1) 児童の見取り（変容）を記入してください。

- ・つまづいている児童への対応
 - ・個別指導の工夫
- } どのように変容したのか

(2) 次回、その単元を実施する際、改善すべき点について記入してください。

令和8年4月28日（火）を目処に単元計画（1～4まで）を立案し、「単元名」「実施時期」を研究主任までお知らせください。

※単元を進める際には、児童の様子が分かる写真やノート・成果物の写真を記録しておいてください。研究発表等で活用させていただきます。

令和8年7月17日（金）までに「5 成果と課題」まで入力し、提出してください。

せらひがし小 ⇒ O4 研究部 ⇒ ★R8 研修部 ⇒ 単元計画開発 ⇒ 1学期 内